



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2013年 10月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

皇后陛下に行啓を賜り 第15回日本太鼓全国障害者大会開催



(出演者にお声をかけられる皇后陛下)

10月6日(日)第15回日本太鼓全国障害者大会を、東京都文京区の「文京シビックホール」にて開催いたしました。

この大会は日本財団の助成事業として行われ、当財団主催、社会福祉法人富岳会共催、日本太鼓財団関東地区協議会、日本太鼓財団東京都支部主管のもと、厚生労働省、文化庁、文京区等の後援を賜り実施いたしました。

日本太鼓は、障害者の療育に効用があると言われており、社会福祉法人富岳会(山内令子理事長)は、35年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として取り入れてこられました。この大会は1998年富岳会が主催された「障害者太鼓演奏会」が静岡県御殿場市で開催され、翌年「より多くの団体にも出演の機会を」との声を受け、1999年より当財団との共催で全国大会として実施しております。

第15回目を迎える今回は、皇后陛下に行啓を賜り、日本太鼓に積極的に取り組んでいる16都府県の35団体(出演者数530名)が一堂に会し、日頃の練習の成果を力いっぱい披露しました。

また、「富岳太鼓竜神組」(静岡)、「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」(静岡)、「恵那のまつり太鼓」(岐阜)の3チームは第1回大会以来、15回連続で出場をされています。各団体の演奏の合間には、障害者の皆さんが太鼓との関わりについて体験発表をし、自身の成長や、チーム内の変化などを一生懸命に語ってくれました。いずれのチームも日頃の練習の成果を存分に発揮し、演奏レベルも非常に高く、また全員が心から太鼓を楽しんで演奏をしている様子が印象的でした。

1,100名におよぶ観客は、ひたむきな演奏と体験発表に惜しみない拍手を送っていました。

また、会場ロビーには、富岳会の皆さんが描いた素晴らしい絵画が展示され、来場者は熱心に見入っていました。

来年の16回大会は2014年10月5日(日)に大阪府大東市の「大東市立総合文化センター」での開催となります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<出演団体> ☆は初出場(出演順35団体)

- 1 富山 鼓友 夢光組
- 2 大阪 すまいる和太鼓クラブ
- 3 静岡 遠州袋井太鼓保存会・スマイルズ
- 4 大阪 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」
- 5 山口 社会福祉法人同朋福祉会あそかの園同朋太鼓
- ☆6 兵庫 神戸なかよし太鼓
- 7 石川 石川県立明和特別支援学校 龍剣太鼓
- 8 徳島 徳島県立国府支援学校 和太鼓部
- 9 静岡 富岳太鼓 竜神組
- 10 山梨 甲州ろうあ太鼓
- 11 東京 筑波大学付属桐親会和太鼓クラブ
- 12 大分 糸口学園 糸口太鼓
- 13 石川 石川県立ろう学校 風神太鼓
- 14 岐阜 ファミリーユニット童鼓
- 15 福島 やまびこ太鼓
- 16 長野 御諏訪太鼓保存会 湖響龍夢
- 17 兵庫 神戸ろう太鼓集団 鼓神
- 18 静岡 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム
- 19 長野 諏訪養どんどん太鼓
- 20 広島 和太鼓 天手鼓舞
- 21 静岡 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム
- 22 福島 あだたら和太鼓
- 23 静岡 静岡県立静岡北特別支援学校 北龍太鼓
- 24 長野 和太鼓ちんどん
- 25 静岡 伊豆医療福祉センターどんつく
- 26 静岡 静岡ハンディキャップ太鼓の会
- 27 石川 社会福祉法人 南陽園 ふれあい和太鼓
- ☆28 福岡 みのり会 みのり太鼓
- 29 東京 大江戸助六流東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」
- ☆30 静岡 なごみ太鼓喜楽
- 31 東京 和太鼓 流星群 with X
- ☆32 静岡 風のひびき
- 33 愛媛 四国中央磐座太鼓ろうあ部会 鼓龍会
- ☆34 東京 はねっ鼓
- 35 岐阜 恵那のまつり太鼓

*初出場5チームの体験発表をご紹介します。

神戸なかよし太鼓 (兵庫)

私たちは神戸市より来ました「神戸なかよし太鼓」と申します。この9月には、結成21年になりました。

私たちは、一人ひとりハンディーを持っていますが、それぞれ通所施設、作業所、そして仕事をしている人様々です。この21年間、私たちのテーマである「絆」を合言葉に活動してきました。

最初はバチでただ、たたくしかできなかったのが月2回の練習で、今から演奏します「絆」が打てるようになりました。年25回ほどの出演をしています。打ち終わった後の拍手に喜びを頂き、次へのファイトとしています。そして何よりもあきらめず、続けることの大切さを知りました。これからも一人でも多くの人に聞いていただけるよう頑張ります。今日はありがとうございました。



(なごみ太鼓喜楽)

なごみ太鼓喜楽(静岡)

今日わ。私達は、3人の友達と、かぞくと、先生で太鼓をしています。月に2回の練習が、たのしいです。これからも、がんばります。



(みのり会 みのり太鼓)

みのり会 みのり太鼓(福岡)

こんにちわ、福岡県から出場しました。みのり太鼓です。僕達みのり太鼓は17年前、何か楽しい時間を過ごせないかと仲間が集まり、親子で話し合いました。そして、音楽に合わせて、竹筒を叩くことから始めました。2年後、飛龍八幡太鼓の野本先生にお会いすることが出来、和太鼓をおそわるようになりました。曲を作って頂き、お母さんと一緒に、親子で練習をはじめました。

太鼓を揃えるために、みんなで頑張り、物品販売等をして1台ずつ揃えました。今年、1台寄贈して頂き、計10台になりました。

地元の皆様に和太鼓の演奏を聞いて頂き、自分達が社会にかかわっていることがとても嬉しいです。仲間と気持ちを一つに合わせ、一生懸命和太鼓を叩くことがとても楽しいです。



(神戸なかよし太鼓)

はねっ鼓(東京)

僕は、7年前に友達のお母さんに誘われて太鼓を始めました。初めは、出来なくて注意された事がありました。沢山練習して少しずつ上手くなりました。叩ける曲も増えました。

去年からはねっ鼓の仲間が増えました。だからグループに分かれて練習をして合同でも練習をしています。合同練習で他のグループの友達に会えて楽しいです。府中けやきの森学園の夏祭りや12月の和太鼓療育フォーラムのコンサートにも出演しています。

一生懸命練習をして本番で沢山のお客さんから拍手をもらえるのは、嬉しいです。

僕は、これからはねっ鼓を続けていきたいと思っています。僕は、もっと難しい曲を叩いて上手になりたいと思っています。



(はねっ鼓)

風のひびき(静岡)

私達の会は音楽療法を目的としているため、発表する機会はとても少ないのですが、主に本会の行事などで地域の人に聞いてもらったり、地域の団体・中学校の芸術祭・障害者団体のイベント・県の障害者芸術祭・最近では島田市「川越太鼓」のチャリティなどよばれ発表しています。特に平成15年より地域の社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」では毎年、オープニングとして演奏しています。この時は地域の人が大勢来て、聞いてくれるので、とても力が入ります。終わった後で地域の人が声を掛けてくれるのが、この活動を続けていくのにとっても励みになります。励ましの言葉をもらい、地域の人たちに障害を理解してもらえる事が私達の目的の一つです。



(風のひびき)

第17回日本太鼓全国フェスティバル

～富山県砺波市で開催～

第17回日本太鼓全国フェスティバルを7月7日(日)、富山県砺波市の砺波市文化会館において、1,000人の観客を前に盛大に開催いたしました。

このフェスティバルは日本財団の助成事業として行われ、当財団主催、富山県支部が主管となり、文化庁のほか、富山県、砺波市等地元の後援をいただきました。

当日はあいにくの雨でしたが、お足元の悪中、開場の1時間以上も前からお客様が列を作られるなど、全国フェスティバルに対する期待が伺えました。

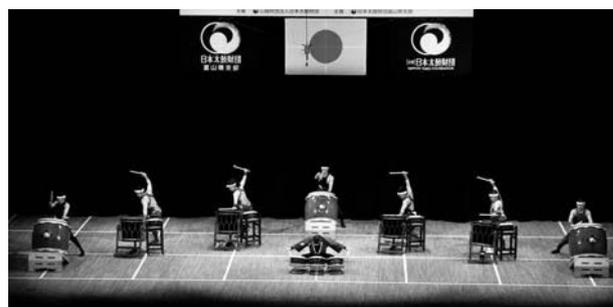
公演は、主催者を代表して当財団の塩見和子理事長の挨拶と砺波市の夏野修市長のご祝辞と続き幕を開けました。続いて全国トップレベルの9チームが渾身の演奏を披露しました。

以下出演団体をご紹介します。

1. 富山県合同チーム(富山) …富山県支部加盟団体の会員から選ばれた46名の皆さんが一つとなり、富山県合同曲「風音」を演奏し、その迫力に会場から大きな拍手が贈られました。
2. 善通寺龍神太鼓(香川) …昭和47年善通寺龍神太鼓として発足、善通寺市の郷土芸能として県内外にて幅広く活動し、北は北海道から南は沖縄まで演奏活動をしている実力を披露されました。
3. 太鼓道場「風の会」(山形) …道場理念の「基本は心」を掲げて県内外で和太鼓の響きを発信、東北の元気の源にとの熱い思いを込めて「嵐」「鼓連」を演奏して下さいました。
4. 恵那のまつり太鼓(岐阜) …知的障害を持つ皆さんと施設の指導員による演奏を披露して頂きました。仕事が終わった後に練習を積み重ねた日頃の成果を本番で披露して頂きました。
5. 水舞流越中八幡太鼓保存会(富山) …伝統に新しい感性を取り入れた表現を目指している地元チームが、砺波平野を流れる「庄川」の四季折々の清流をテーマにした「河」を演奏して下さいました。
6. 助六太鼓保存会(東京) …東京を拠点に活動する助六太鼓保存会は、江戸の粋を感じさせる3曲を披露。いずれも助六太鼓の代表曲で、富山県の皆さんも一時江戸の雰囲気を楽しんでおられました。
7. 橘太鼓「響座」(宮崎) …太陽の国・宮崎の大自然や歴史、文化、人の心などを太鼓に託し、力強い鼓動を伝える迫力満点の演奏に、会場から大きな歓声が沸きました。
8. 銚子はね太鼓保存会(千葉) …銚子市に伝わる伝統太鼓のチームです。客席より演奏しながら賑やかに登場し、舞台上で飛んだり跳ねたり演奏は迫力満点で、お客様も大喜びでした。
9. 手取亢龍若鮎組(石川) …3月に石川県で開催した第15回ジュニアコンクールの優勝チームです。子供達の力強い演奏に会場から大きな声援が飛んでいました。



(フィナーレの様子)



(善通寺龍神太鼓・香川)



(太鼓道場「風の会」・山形)



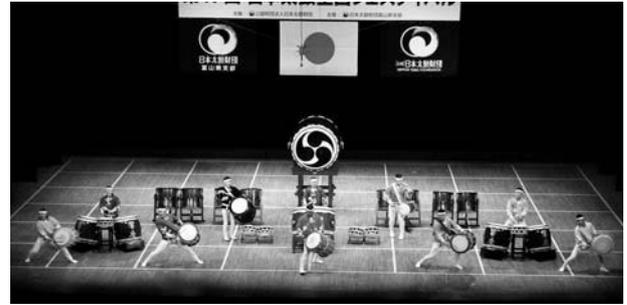
(恵那のまつり太鼓・岐阜)



(水舞流越中八幡太鼓・石川)



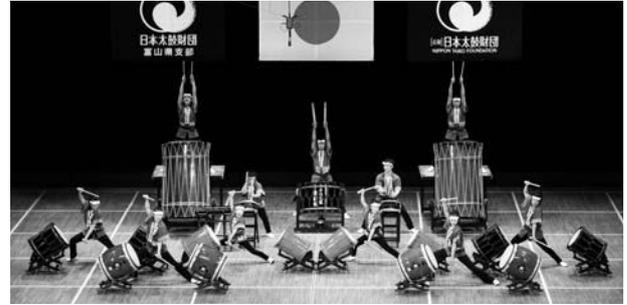
(助六太鼓保存会・東京)



(橘太鼓「響座」・宮崎)



(銚子はね太鼓・千葉)



(手取穴龍若鮎組・石川)

*富山県支部の熊野支部長より、フェスティバルについての感想をご寄稿頂きました。

第17回日本太鼓全国フェスティバルを終えて

富山県支部長 熊野 誠

富山県で初めての開催となる「第17回日本太鼓全国フェスティバル」が、多くの皆様にご支援とご協力を賜り、無事に終了出来たことを心より感謝申し上げます。また、会場に足を運んでいただきましたお客様に厚く御礼を申し上げると同時に、日本太鼓財団の皆様、全国各地より出演していただきました各団体の皆様、そして出演者、またスタッフとして当日の後片付けまで活躍していただいた富山県支部の皆様、本当にありがとうございました。

いま、考えてみますと私が事務局長としてお世話をさせて頂いていた4年ほど前、財団より「日本太鼓全国フェスティバルの開催を考えてみませんか」との、お声をかけていただき、支部長と前向きな返事をしたのを覚えています。その時はまだ先の事ですし、しっかりと準備をすれば大丈夫だと自分に言い聞かせていたと思います。それから月日の経つのは早いもので、昨年の総会で富山県支部長に就任して、初の大きな事業となりました。

会場については、お話があった時から砺波市で開催したいと考えていました。また、出演団体の選考では地元富山県支部より合同チームとは別に1団体の参加を叶えていただき、感謝の気持ちで一杯です。

前日のリハーサルから当日の午前中にかけては集中豪雨並みの雨。お客様の事を考え開場時間を早めてのスタートとなりました。会場はほぼ満席に近い状況でほっと一安心。富山県合同チームの演奏から始まり、日本を代表する選抜チームの演奏、最後の出演者全員によるフィナーレまで、観客席からは惜しめない温かい拍手が送られていました。また、送り太鼓が響く中、会場を後にされるお客様の笑顔に、「富山県で開催して良かった」と心から感じる事が出来ました。

何でも同じ事ですが、一つのイベントを実施するには、一人では何も出来ませんし、言葉で上手く言っても行動が伴わないと周りの人は付いて来ません。また、賛同してくれる人、理解してくれる人がいなければ何も出来ません。それぞれ自分の役割を理解して、成功させるという目標に向かって突き進むことは、本当に素晴らしいことです。

最後になりますが、このような素晴らしい機会を与えて下さった日本太鼓財団の皆様、演奏していただいた各団体の皆様、ご協力いただいた地元関係者の皆様、ご来場いただいたお客様、そしてお世話になりましたすべての皆様に重ねて感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。



(富山県合同チーム)

第18回大会は、岩手県にて開催！

次回フェスティバルは、2014年7月6日(日)、岩手県奥州市「奥州市文化会館」にて開催します。

＜第 58 回日本太鼓支部講習会（宮城）＞

8月24・25日（土日）、宮城県支部主催による支部講習会が宮城県石巻市の「ビックバン」で行われました。今回は震災で大きな被害を受けた地元石巻市をはじめ、34名が参加しました。開会式では久保泰宏支部長から歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。初秋の訪れを感じる宮城で受講生は熱心に2日間の講習会を受けていました。

- 基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
- 3級基本講座 鈴木 孝喜
- 4級基本講座 渡辺徳太郎
- 5級基本講座 松枝 明美

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級基本講座	4名受験	4名合格
4級基本講座	10名受験	10名合格
5級基本講座	20名受験	20名合格



（5級基本講座の様子）

＜第 59 回日本太鼓支部講習会（北海道道西）＞

9月28・29日（土日）、北海道道西支部主催による支部講習会が北海道岩見沢市の「幌向総合コミュニティセンター ほっとかん」で行われました。今回は地元北海道をはじめ、35名が参加しました。開会式では田中浩照支部長から歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。受講生たちは一生懸命、講習に励んでいました。

- 基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
- 3級基本講座 渡辺徳太郎
- 4級基本講座 橋本 光司

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級基本講座	9名受験	9名合格
4級基本講座	25名受験	25名合格



（4級基本講座の様子）

東京・虎ノ門一丁目琴平町の夏祭り

8月9日（金）の夕刻、当財団ビル最寄りの町内会である「虎ノ門一丁目琴平町会」のお祭りが開催され、「邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア」と、日本財団関連団体関係者で構成された「和太鼓水心会」が演奏を披露しました。オフィスビル街での夏祭りの太鼓演奏に、家路に向かう人々も足を止め、夏の暑さを一時忘れ楽しんでおられました。



（邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア）



（和太鼓水心会）

フランス日本太鼓公演

8月30日から9月3日に「豊の国ゆふいん源流太鼓」(代表 長谷川義)をフランスに派遣いたしました。これは、フランスのパリ市が主催する「緑のクラシック音楽フェスティバル」へ日本の太鼓チームの出演を希望され、笹川日仏財団を通して当財団に要請があったことから実現したものです。

9月1日には、パリ市・フローラル公園にて「豊の国ゆふいん源流太鼓」が公演を行い、盛況裡に無事終了しました。当日は開場とともに客席は満員となり、およそ2,000名のお客様が日本太鼓を楽しんでおられました。



(演奏の様子)

以下、出演メンバーの感想文を掲載致します。

小出 侑之介 (15歳)

今回、8月30日～9月3日までの5日間フランスでの公演に行ってきました。最初このフランスの公演の話聞いたとき鳥肌が立ちました。以前、台湾に行ったときもとても楽しみでしたが、それ以上に楽しみでした。

本格的にフランス公演の練習が始まったのは8月からでした。それからみっちり一ヶ月間練習しました。

僕はフランスに行くのは初めてでパリの街並みがすごくキレイで感動しました。

次の日は朝からリハーサルをし、本番でした。リハーサルが終わり、開場の時間になったらお客さんがみんな走ってこられて一瞬にして満席になりました。

会場がいい雰囲気盛り上がっておりその中での開演でした。第一部が終わった瞬間すごく大きな拍手が鳴りやまなくなりました。気づけば、お客さんがスタンディングオベーションをしていました。こんな本番初めて見ました。とてもうれしかったです。この勢いで第二部も無事、終了することができました。

今回のフランス公演は僕にとって第一歩です。これからも本番はもちろんのこと、日々の練習も力をぬかず全力でしていきたいと思えます。



(演奏の様子)

小出 翔五 (12歳)

自分は初めてのフランスでものすごく楽しみにしていました。飛行機からおり、空こうについた時、日本とは、ぜんぜんちがいが日本語が一つありませんでした。他にも、日本人の姿が一人も見あたらない事にびっくりしました。

1日目は、フランスのパリの町を、かんこうしました。初めて見るがいせん門や、エッフェルとうが見られて本当にうれしかったです。

太鼓本番当日、最初は、リハーサルでした。本番を成功させるためには、リハーサルが大事なので、しんげんに打ちこみました。本番の時がくると、会場には、たくさんの方が集まっていたので、ものすごくきんちょうしました。席にすわってる人や、遠くの方のしばふで見てる人もいました。本番が始まると、きんちょうが少しずつとけていきました。本番が終わると、会場の方が立ってはいく手を、してくれました。また、声も上がっていたので本当にうれしかったです。

いつもとちがう体験ができて、本当にうれしかったです。ありがとうございました。



(フィナーレ)

<派遣メンバー>

ゆふいん源流太鼓

長谷川 義 (代表)、長谷川 準、富永希一、

小出侑之介、小出翔五

(公財) 日本太鼓財団

塩見和子 (理事長)、印出公平 (事業課長)

沖縄県支部結成記念公演開催

沖縄県支部が、今年の4月1日付で開設され、その設立を記念した公演が開催されました。

日本太鼓財団沖縄県支部 支部長 与座 克己

去る7月21日(日)嘉手納町の文化センターにおいて、「日本太鼓財団沖縄県支部」の結成記念公演を開催しました。出演は、比屋根華太鼓・舞葵琉太鼓・名護桜太鼓・安田太鼓・総管太鼓の沖縄県支部団体に加え、特別出演していただいた大分県「豊の国ゆふいん源流太鼓」の6団体です。公演当日は、地元嘉手納町の當山宏町長の歓迎の挨拶に始まり、各団体の演奏、そして「日本太鼓財団」の中西常務理事に挨拶をいただきました。

観客は約700名余と盛り上がったイベントになりました。これからも「日本太鼓財団」のご指導の下、和太鼓の普及と発展継承、そして後継者育成の為支部員一同頑張っていく所存です。今後とも宜しくお願いいたします。



(開会式の様子)

第6回ブラジル太鼓選手権大会が開催

7月28日(日)にブラジル太鼓協会主催の第6回ブラジル太鼓選手権大会がサンパウロ市の日本文化協会講堂において、満員となる1,000名の観客を集めて開催されました。

ジュニア部門には17チーム、リーブレ(フリー)部門には9チーム、ミリン部門(12歳未満)9チーム、マスター部門(40歳以上)2チーム、大太鼓部門11名、特別演奏(前年度優勝チーム等)2チーム、合計39チームが参加し盛大に行われました。

ジュニア部門では飛翔太鼓(サンパウロ州コロニア・ピニャル市)が優勝し、3月に開催するジュニアコンクールに出場することが決定しました。ジュニア部門上位の結果は次の通りです。

ジュニア部門

- 優勝 飛翔太鼓
- 準優勝 光太鼓
- 第3位 はつみ太鼓
- 第4位 一心太鼓
- 第5位 オザスコ轟太鼓

審査委員

(敬称略)

蓑輪敏泰(審査委員長)
岡崎ヴァルテル、山本雄二、上村光輝、
国吉フェルナンド、大石誠、高野信太郎

ジュニア部門以外の結果は次の通りです。

<リーブレ>

- 第1位 一心太鼓B
- 第2位 天龍和太鼓
- 第3位 源流太鼓

<ミリン>

- 第1位 源流太鼓
- 第2位 光嵐太鼓
- 第3位 飛翔太鼓

<マスター>

- 第1位 光嵐太鼓
- 第2位 瑞穂太鼓

<大太鼓>

- 第1位 岡本レナト雄二
- 第2位 佐藤マテウスケイジ
- 第3位 島田ラファエル英二



(飛翔太鼓)

事務局だより

第49回日本太鼓全国講習会（佐賀県佐賀市）

期 日：2014年2月22日・23日(土日) *日程が変更になりました。
会 場：佐賀県北山少年自然の家 佐賀県佐賀市富士町大字関屋 Tel: 0952-57-2321
主 催：(公財)日本太鼓財団
総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)
専門講座
御諏訪太鼓講座(複式単打法) 松枝 明美(長野県) 3級基本講座 安江 信寿
秩父屋台囃子講座(複式複打法) 高野 右吉(埼玉県) 4級基本講座 若山 雷門
縮太鼓講座(単式単打法) 長谷川 義(大分県) 5級基本講座(初心者講座) 田中 俊己
*講習会の詳細は、次号(1月号)およびホームページにて随時掲載いたします。

第10回日本太鼓シニアコンクール

文部科学大臣賞を目指して各地(17都道府県)とアメリカからの参加を加え、30組が出場します。

日 時：2013年11月24日(日) 開演14:00 入場無料

*午前中に日本太鼓ジュニアコンクール石川県大会が行われます。

会 場：白山市松任文化会館(石川県白山市古城町2番地)

主 催：(公財)日本太鼓財団、(公社)石川県太鼓連盟、(財)石川県芸術文化協会、北國新聞社

主 管：日本太鼓財団石川県支部

出演30団体は以下の通りです。(順不同)

加賀太鼓 守護神、小松大太鼓 環海、加賀の太鼓「無限」、加賀太鼓保存会、共栄太鼓 風雅、九谷太鼓、加賀太鼓保存会(以上石川)、鼓喜楽屋(香川)、秦野観光和太鼓(神奈川)、日本太鼓集団 鼓國雷響プロジェクト、ぎふ愛鼓会(以上岐阜)、金谷大井川川越し太鼓(静岡)、大和太鼓保存会、風天太鼓保存会(以上佐賀)、水舞流越中八幡太鼓保存会(富山)、助六太鼓保存会「G5」、荏原流れ太鼓 ひびき会、邦楽アカデミー 和太鼓 大元組いぶし(以上東京)、御諏訪太鼓保存会(長野)、和太鼓 楽鼓の会(奈良)、久山樺太鼓 響生会、正八幡宮飛龍八幡太鼓奉友会(以上福岡)、ひろせ梁川太鼓(福島)、橋本流地獄太鼓 和太鼓會(北海道)、業平夢太鼓、華の宴(以上三重)、和太鼓 幻創(宮城)、酒田北前太鼓振興会(山形)、下関平家太鼓保存会 勝山会(山口)、サンフランシスコ太鼓道場(米国)

ジュニアコンクール予選・推薦の結果報告は11月末締切!!

2014年3月23日(日)福島県郡山市の「郡山市民文化センター」で第16回日本太鼓ジュニアコンクールが開催されます。海外からは、すでに大会が終了したブラジルから「飛翔太鼓」(サンパウロ州コロニア・ピニャル市)の参加が決定しており、11月3日には台湾でも代表が決定されます。国内でも各地において予選が行われておりますが、終了した支部は11月末日までに予選実施報告書・出演団体推薦書・出演申込書を提出して下さい。課題曲は全チームが確定後、年内に一斉送付致します。

なお、予選のない地域で出場を希望される団体は、財団事務局(Tel:03-6229-5577)までご連絡下さい。

助成金交付事業の2014年度分を募集

太鼓事業の開催等に対して当財団が行っている助成金交付事業の2014年度については、次の通り予定しております。

対象期間：2014年4月より2015年3月までの間に実施する事業

申請締切：12月26日(木)

助成金額：1事業あたり20万円

*詳細は、財団事務局(黒木)までお問い合わせ下さい。Tel. 03-6229-5577